

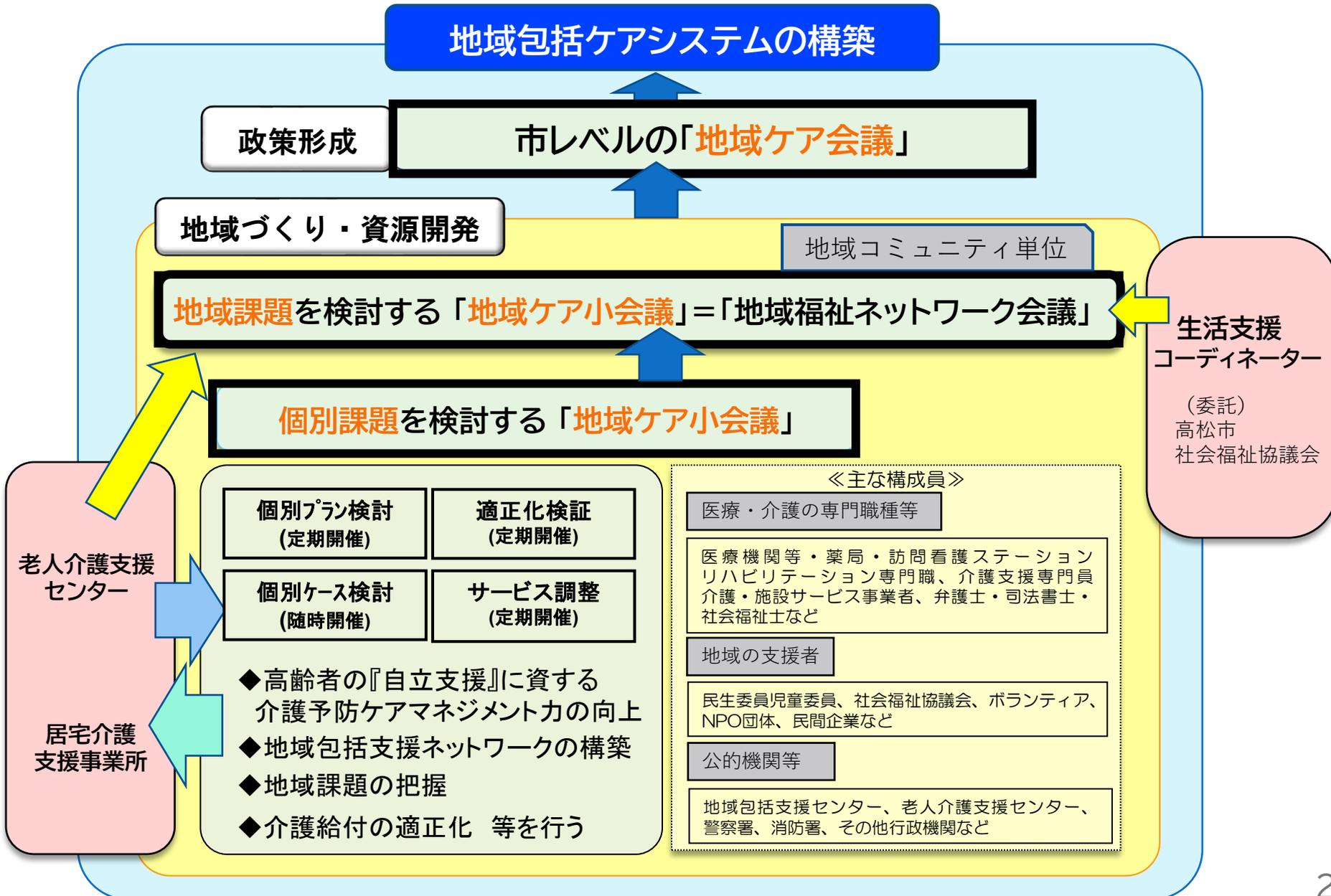
地域ケア会議

地域包括支援ネットワーク[※]の強化

高松市地域包括支援センター

※地域包括支援ネットワーク：高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるために不可欠な、地域に根ざしたネットワークのこと。

高松市における地域ケア会議と地域ケア小会議について



地域包括支援ネットワーク強化に向けた取組

背景

高齢化の進展に伴う要支援者数の増加、
支援ニーズの多様化



地域包括支援センターは、
地域包括ケアシステムの中核機関として

- ◆ 高齢者に関する様々な相談の受け止め
- ◆ 地域課題へ対応するための**地域包括支援ネットワークの強化**が求められる

取組

R6年度

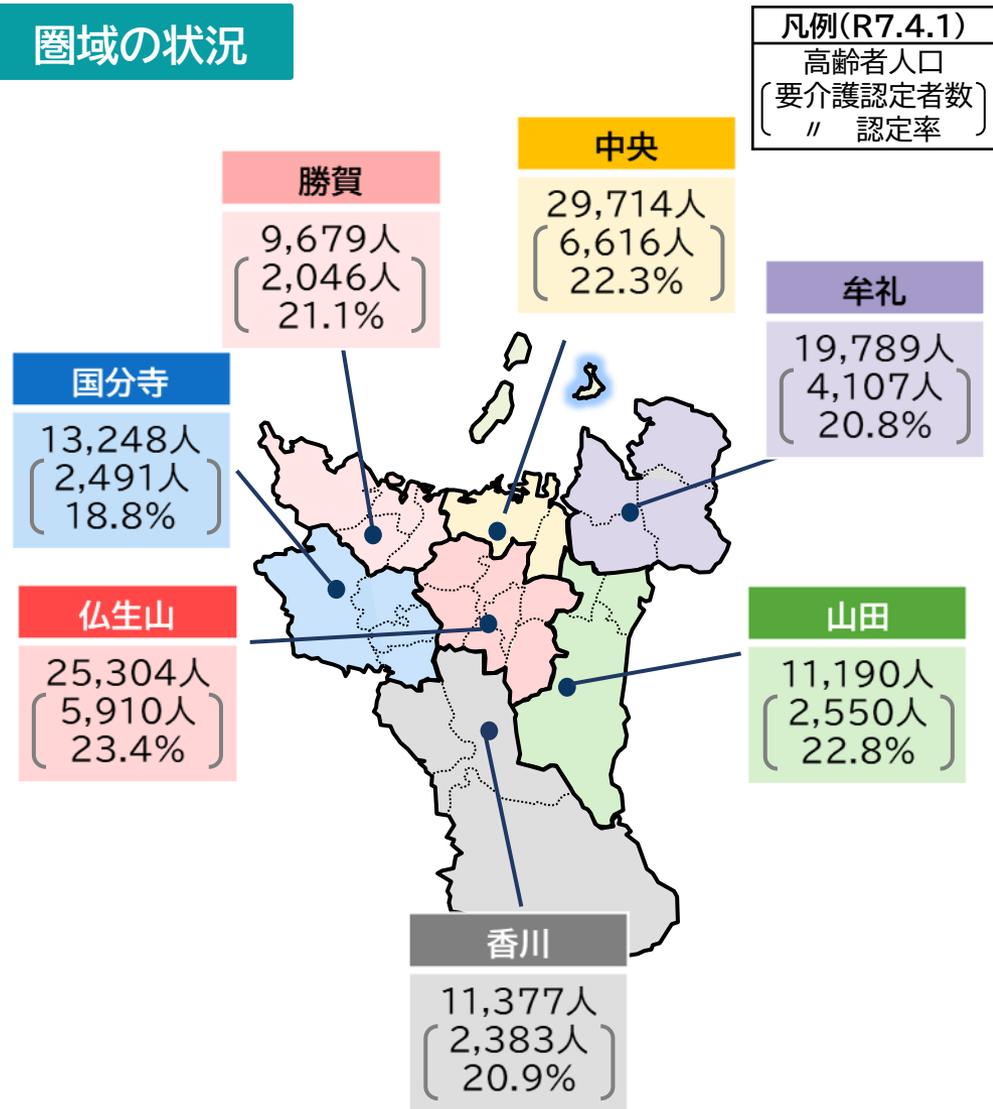


- ・ 地区担当制の導入
- ・ 地域カルテの作成・共有

R7年度

- 【**拡充**】介護支援専門員情報交換会の開催
(全エリアで開催)
- 【**新規**】老人介護支援センターとの意見交換
(地域カルテを共有)

圏域の状況



地域包括支援ネットワーク強化に向けた取組

住民や専門職団体との関係づくり

住民や地域の医療・介護の専門職等と、日頃の交流や支援を通じて顔の見える関係を築く

(R6年度取組)

- ・地区担当制の導入
- ・地域カルテの作成・共有



1
住み慣れた地域で
安心して
暮らし続けられる
社会の実現

3

2



地域の実態の把握・共有

地域活動への参加や個別支援の中で感じる地域の実態や課題を把握し、住民や専門職団体と共有する

(R7年度取組)

- ・介護支援専門員情報交換会の開催
- ・老人介護支援センターとの意見交換

地域課題の解決に向けた協働

住民や専門職、多様な主体と協働し、地域課題の解決に向け、地域全体の連携体制を構築する



【拡充】 介護支援専門員情報交換会

◆ 各圏域の介護支援専門員のニーズに応じた情報交換会及び意見交換等を行い、介護支援専門員相互の連携やネットワーク構築の強化につながった。

圏域	テーマ	内容	参加者数
中央	みんなで語ろう！一人で抱えていませんか？支援のしづらさ	<ul style="list-style-type: none"> ■支援困難を感じる事例の共有 ■支援困難に陥る要因から、支援における課題や必要な社会資源、ネットワークを考える 	20事業所 31人
仏生山	みんなで語り合おう！役立つインフォーマルサービス&支援の悩み	<ul style="list-style-type: none"> ■インフォーマルサービスを情報交換し、地域のニーズや課題を整理 ■利用者支援で抱える悩みや解決方法等を共有 	22事業所 27人
山田	つながる！使える！山田エリアの社会資源	<ul style="list-style-type: none"> ■老人介護支援センターの活動や住民主体サービス、高齢者の暮らしに役立つ資源を共有 	18事業所 31人
牟礼	ダブルケアの事例から介護支援専門員の役割を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ■介護と子育てを行うダブルケアラーの事例から、複合的な課題を抱える世帯への支援を考える ■ダブルケアラーの子育て支援等連携機関を知る 	14事業所 22人
勝賀・国分寺	みんなで語ろう！あってよかった社会資源、なくて困った社会資源	<ul style="list-style-type: none"> ■活用して良かった資源、利用者の暮らしを支える上で不足している資源をマッピング ■地域に必要な資源を話し合い、地域課題を整理 	19事業所 34人
香川	香川、香南、塩江地区の高齢者を支えるネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■民生委員と介護支援専門員が交流し双方の役割を知る ■民生委員と顔の見える関係を作り、連携を深める 	14事業所 21人

情報交換会から見た課題と今後の取組

- ◆ 情報交換会の開催により、介護支援専門員が高齢者を支援するうえで、地域に共通する現状や課題が見えてきた。今後、情報交換会や地域ケア会議等を活用し、これらの課題解決に向けた取組へつなげていく必要がある。

情報交換会から見た現状・課題

1 多様な主体による生活支援の必要性

支援を必要とする高齢者が増加するなか、介護保険サービスのみでなく、**多様な主体による生活支援**(民間企業、ボランティア等による家事支援や外出支援等)**が必要**。

現状は**資源の不足**や、**情報が集約されていない**ため十分な活用ができてない。

2 支援ネットワーク強化の必要性

身寄りのない高齢者や複合的な課題を抱える高齢者が増加するなか、**適切なつなぎ先が分からなかったり、関係機関等とのネットワークがないことにより、支援困難に陥る事例がある。**



3 介護支援専門員のシャドウワーク

生活支援や連携機関の不足、介護支援専門員の役割について認識されていないこと等により、**介護支援専門員がシャドウワーク(法定外業務)として実施せざるを得ない場面が増えている。**



情報交換会等を活用した今後の取組

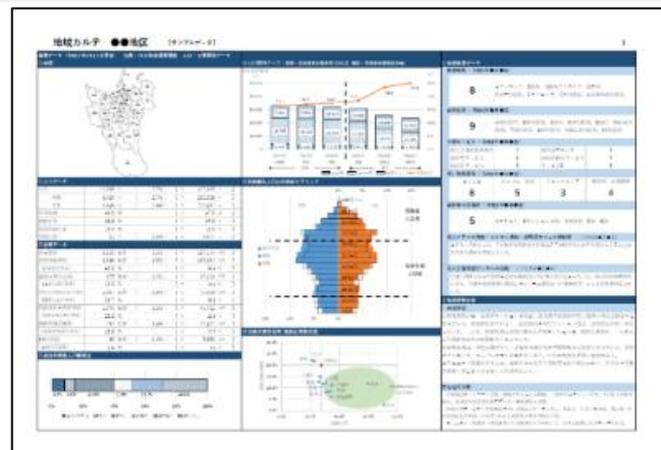
- **必要な資源やネットワークの整理・共有**
- **高齢者のニーズや生活課題を多様な主体と共有し、具体的な対応策について検討**

地域包括支援センターや介護支援専門員が、地域の多様な主体(病院や金融機関、スーパー、地域のボランティア等)と意見交換等を行い、それぞれの**役割を明確化**するとともに、**高齢者のニーズに応じた資源の掘り起こし**や、**チーム支援のためのネットワークづくり**につなげる。



【新規】 老人介護支援センターとの意見交換

- ◆ 27か所の老人介護支援センターと地域包括支援センターの地区担当職員が、地域カルテを共有し、地域の魅力や資源、課題等について、意見交換を行った。



- ◆ 意見交換の中で出た地域課題のキーワード

タクシー会社の廃業、
バスの減便や路線の廃止…

近所で誘い合って
外出ができればいいな

高齢者が気軽に集える場が減っている…

通いの場等への**外出機会が減少**

免許返納後の**買い物や通院が不便**

参加者が固定されているのが課題

道路の横断や坂道が外出のハードル
を高くしているみたい

災害時の対応

地域の担い手不足

団地内の空き家が増えている

高齢になって仕事をしている人が多いからかも？

地域の繋がりの希薄化

若い世代はどう考えているのだろうか？

地域のキーパーソンは誰だろう…

複合的な課題を抱えるケースの増加

この辺りの人は支援を受けるの
に抵抗がある人が多い印象

誰とも繋がっていない孤立した人は
問題が複雑化しやすい…



老人介護支援センターとの協働

地域住民と地域のことを話題にする機会を持つ

見えてきた課題

- 担い手の偏りや不足が課題
- 色々な世代や立場の方の考えを知る必要がある

解決に向けた取組

老人介護支援センター相談協力員会、地域福祉ネットワーク会議、認知症サポーター養成講座、市政出前ふれあいトーク等で**地域の実態を共有**する



高齢化が進む団地の実態把握

見えてきた課題

- 長年団地内の見守りを担っていた民生委員の退任
- 孤立死事例の発生

解決に向けた取組

民生委員や老人介護支援センター、地域包括支援センターが連携して、**実態把握と見守り強化**ができないか

高齢者が気軽に集える居場所づくり

見えてきた課題

- 居場所がないエリアがある
- 世話人の高齢化で継続が難しい居場所・認知症カフェがある

解決に向けた取組

老人介護支援センター事業を活用して**居場所づくりの支援**ができないか



認知症に関する正しい知識と理解の普及

見えてきた課題

- 自治会やマンション全体が高齢化し、誰もが認知症になる可能性がある
- 専門家の支援に加えて、地域のゆるやかな見守りが必要

解決に向けた取組

自治会やマンション単位で**認知症サポーター養成講座を実施**し、見守りの意識を広げる

マンションに住む認知症独居高齢者の支援をきっかけに、マンション住民に認知症サポーター養成講座を行い、マンション内で見守りをする住民や、認知症ボランティアとして活動する住民が生まれました。



地域課題の解決に向け、住民や専門職、多様な主体と協働し、
地域全体の連携体制を構築する